

(別添1) 令和7年度(第2回) 「自然共生サイト」認定結果(信越自然環境事務所管内)

No	新規 移行	計画名称 (サイト名称)	認定タイプ	申請者名	サイト所在地		活動概要
					都道府県	市町村	
1	新規	軽井沢の自然と生態系も豊かにしながら暮らす家 (長野県北佐久郡軽井沢町周辺、フォレストコーポレーションの建設した住宅の庭)	創出	株式会社フォレストコーポレーション	長野県 北佐久郡軽井沢町		開発以前の2次林の環境を維持しつつも日当たりの良い草原性環境を再現し、地域在来の蝶や鳥を呼び込めるようにした軽井沢町内の(株)フォレストコーポレーション軽井沢支店敷地内の庭を軸に、今後、同社が同町内で建設する建壳の住宅に在来性の草本・木本を植栽し、軽井沢を代表する「アサマシジミ」「アサギマダラ」といった蝶を呼び込めるようにする。町内に生物多様性に配慮した庭を点在に整備することで、小さな庭がモザイク状につながり、森と森を繋ぐ回廊の役割を果たすことで、地域の多様性を生み出す未来を目指していく。
2	移行	サンクゼールの森生物多様性維持活動 (サンクゼールの森)	維持	株式会社サンクゼール	長野県 上水内郡信濃町		50年以上を経過した自然度の高い落葉広葉樹二次林、カラマツやスギといった針葉樹の人工林もパッチ状に存在するなど非常に多様性に富んだ「サンクゼールの森」において、エリア内の自然環境に基づいたゾーニングを行い、ゾーニングに応じた整備や管理を行うことで、社員、地域住民の憩いの場、緊急時の避難場所、社員の創造性をはぐくむ場、そして豊かな自然環境の保全と人間との共生を目標とする。
3	移行	大峰高原生物多様性保全エリア保全活動実施計画 (大峰高原生物多様性保全エリア(白樺の森・七色大力エデ周辺))	維持	大峰高原里山整備利用推進協議会	長野県 北安曇郡池田町		かつて草原環境であった大峰高原は、戦後、開拓団の入植やリゾート化計画など土地利用の変遷を経て樹林化が進行している一方で、七色大力エデ、白樺の森といった自然資本を生かした観光地となっている。この大峰高原において、里山の整備・利用活動を通じ、自立的かつ持続的な里山の管理を図り、地域の活性化に資するほか、二次的な環境とそれに依存する動植物の保全に努め、生物多様性の観点から「豊かである」といえる自然環境を維持していく。